



東風

横浜市立綱島東小学校

【聞く力をつけると子どもが伸びる！】

校長 三橋 国雄

関東では紅葉の便りが届き、朝晩の冷え込みに慌てて長袖を準備されているご家庭も多いことと思います。

11月10日（火）から12日（水）まで形を変えた運動会「イーストスポーツ2020」が行われます。5・6年生の実行委員を中心に全校挙げて、今年度初めて行われる大きな学校行事に向かっている感じが伝わってきています。先日の朝会では実行委員がスローガンとマスコットの紹介を上手にしました。各学年の取り組みとしては、今年度はコロナの影響で一緒での演技はできませんが、6年生が5年生にソーラン節の演技を伝える場を作り、伝統を繋いでいます。そして、6年生は最高学年としての自分たちの気持ちを精一杯表現しようと全身で取り組んでいます。5年生は6年生からしっかり伝統を繋ぎ頑張るという気持ちが練習を見ていて感じられます。3・4年生も今自分にできることを精一杯表現しようと練習しています。2年生は、昨年より成長している姿を見せようと張り切っています。1年生は小学校入学してからの初めての発表会です。みんな張り切っています。そして教職員も今年度初めての大きな学校行事に熱くなっています。

こんな日々が続くときは、家に帰ってから子ども達は学校であつたいろいろなことを夢中になって話すと思います。ゆっくり話を聞いてあげてください。それが子ども達のやる気と安心につながります。そして伝えたいことを自分の思いをもって表現することができるようになります。

多様な方法で、自己表現をすることで子どもたちの表現力は伸びてきます。表現し、伝える力とともに聞く力は、子どもたちの能力が伸びる両輪となります。素直に聞く力がある子どもたちは、成績が伸びます。聞く力があると、様々なところから知識や情報を日々吸収できるからです。その聞く力を育てる手立てとしておとなが気を付けなければいけないことは、話をするとき子どもに優しく語りかけることです。優しく語りかけると子どもたちは耳を傾けます。しかし常に厳しくしかっていると子どもたちは耳をふさごうとします。もちろんしつけないでぶれないで厳しくすることは重要ですが、周りのおとなが日々語りかける時、優しく穏やかな口調で話すことが大切ではないでしょうか。

信頼関係がないところに人間関係はうまく育まれません。「聞く耳」を育てると相手の話が丁寧に聞いて、思いやりのある対応ができますので、友達ともうまくやっていける子にも育つのではないかと思います。

これは、将来子どもたちが社会に出たとき重要な力となるはずですが、親子や兄弟、姉妹で日常の出来事を語り合うことでも聞く力は育ちます。ぜひご家庭でも取り組んでみてほしいと思います。

今月は、お子さん一人ひとりの可能性を見だし伸ばしていけるよう、「聞く・話す」をキーワードに教職員一同チームとなって教育活動に取り組んでいきたいと思っています。今までと変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

